

アメリカの特別支援教育における言語療法士の役割

広島大学大学院教育学研究科附属特別支援教育実践センターおよび特別支援教育学講座では、Janice Zelazo 氏、Sheila Goetz 氏、松本美代子氏をお迎えし、以下の要領で、日米の特別支援教育システムの違いや特別支援教育における言語療法士の役割などについて話し合いや情報交換を行なう会を開催いたします。ぜひお気軽にご参加ください。

○日 時：2010 年 11 月 1 日(月) 10:30~12:00

○場 所：教育学部L棟L107教室

○参加費：無料、事前申し込みの必要はありません（座席数には限りがあります）。

◎ゲストスピーカー

Janice Zelazo 氏（元コロラド大学ボルダー校、元デンバー大学、米国音声言語聴覚協会認定言語療法士：CCC-SLP）

Zelazo 博士は、40 年以上もの間、言語療法士としてコミュニケーション障害のある子どもやその家族の支援を行なっている。Zelazo 博士はボストン大学大学院で音声言語病理学修士を、コロラド大学ボルダー校大学院で教育学博士を取得し、その後病院、スピーチクリニック、学校などさまざまな場所でキャリアを積み、一方でデンバー大学やコロラド大学ボルダー校において、長年にわたって教員養成や教師教育を行なってきた。また、30 年以上、個人で私設クリニックを営んでいる。

Sheila Goetz 氏（元コロラド大学ボルダー校、Sheila Goetz MA CCC & Associates Inc. 代表、米国音声言語聴覚協会認定言語療法士：CCC-SLP）

Goetz 氏は、言語療法士として 25 年以上のキャリアがある。デンバー大学大学院で音声言語病理学修士を取得し、その後コロラド大学ボルダー校で講師として 17 年間、講義や大学院生の臨床指導、INREAL アプローチが誕生した附属チャイルドラーニングセンターの責任者を務めた。2003 年にボルダー市内で私設クリニックを開所し、ボルダー市内外の乳幼児とその家族に対する支援を行なっている。臨床はクリニック内だけでなく、来談者の家庭内でも実施している。自閉症の子どもを持つ保護者に対しては Hanen プログラムのアプローチによる支援を実施している。

松本 美代子氏（言語聴覚士、保育士、幼稚園教諭、社会福祉主事、INREAL スペシャリスト）

松本氏は、幼稚園教諭 4 年、障害のある幼児専門（個別・小グループ）の幼稚園教諭 6 年、乳幼児通園施設保育士 3 年、言語聴覚士 22 年のキャリアがある。コロラド大学デンバー校心理学科卒業と同時に同大学ボルダー校にて言語発達とその促進方法（INREAL アプローチ）を履修。現在、フリーランスで活躍するとともに、大田区立こども発達センターわかばの家非常勤職員、東京都立墨東特別支援学校外部専門家、星槎大学共生科学部非常勤講師などとしても活躍している。

◎司会・通訳

川合 紀宗（広島大学大学院教育学研究科附属特別支援教育実践センター、米国音声言語聴覚協会認定言語療法士：CCC-SLP）

コロラド大学ボルダー校大学院で音声言語病理学修士を、ネブラスカ大学リンカーン校大学院で音声言語病理学博士を取得。コロラド州立・コロラド大学デンバー校附属子ども病院やコロラド州アダムス郡教育局 No. 50、ネブラスカ大学リンカーン校などでコミュニケーション障害のある子ども・成人やその家族への支援を行なった。現在も広島大学大学院教育学研究科附属特別支援教育実践センターにて、年間 600 件以上の臨床活動を行なっている。コロラド大学ボルダー校在学中は、附属チャイルドラーニングセンターで、Sheila Goetz 氏に師事した。

◎お問い合わせ

広島大学大学院教育学研究科附属特別支援教育実践センター

電話/FAX：082-424-7179（担当：川合）、Eメール：csnerp@hiroshima-u.ac.jp



広島大学

主催：広島大学大学院教育学研究科附属特別支援教育実践センター、特別支援教育学講座、国立大学法人障害児教育関連センター連絡協議会